



南町小だより

練馬区立南町小学校

令和4年 6月30日

校長 星美登里

つよく かしこく あたたかく
～ ありがとうを とどけます ～



3年ぶりのプールです

「楽しい！」プールでの学習 ～3年ぶりの水遊び・水泳運動～

校長 星美登里

つい先日まで梅雨寒の日々でしたが、一転梅雨明けを迎え、季節外れの猛暑となっています。

本校では、6月20日（月）にプール開きがありました。プールを使った学習は3年ぶりです。多くの

子どもたちにとっては、待ちに待ったプールです。どの学年の子どもたちもとても楽しそうにプールに浸かっています。聞いてみると、子どもによってプールでの学習が楽しい理由は様々です。

「水に入れる！」（猛暑ですから格別です。キラキラと光った水も魅力があるようです。）

「浮いているのが気持ちいい」（プカプカと浮いていると、リラックス効果がありそうです。）

「泳げるのがおもしろい」（水の中を歩かなくてもグングン進んでいく楽しさでしょう。）

「教室の外でできる」（いつもの教室での学習とは違ったワクワク感があります。）

「できるようになるのが楽しい」（やったー！頑張っでできるようになった達成感を味わえます。）
そして、こんな答えも返ってきました。

「みんなと入れるのが楽しい」（友達と一緒に楽しく水慣れをしたり、競い合ったりと、体を動かしながら人と関われる楽しさです。）

「マスクを取ってみんなの顔が見られて、みんながニコニコしているのがいい。」（今年の状況ならではの楽しさ。やはり、友達の顔はマスク越しよりもマスクなしの方が輝いて見えます。）

今年は、1年生から3年生までの子どもたちが初めて学校のプールに入ります。4年生と5年生は、低学年で水遊びの経験しかありません。ですから、プールに対して不安のある子どもたちもいます。

「顔を付けるのがこわい…」

「まだ泳ぎ方がわからないよー」

「前はもっと泳げたのに、泳げなくなってる。」

密を避けて3年生以外は学級単位での実施に加え、熱中症予防のため中止することも考えられ、実施回数がかかなり少なくなります。しかし、あせらずに不安を和らげ、楽しみに変えていきたいです。

同じ時を過ごして生活する子どもたちでも、水遊び・水泳運動について様々な思いや感覚を抱くのです。多様な子どもたちに共感し寄り添いながら、学習や生活をさらに豊かにしたいと思います。

1学期もあっという間に過ぎました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。どうぞ安全に留意して有意義な夏休みを過ごされますように、そして、2学期もよろしくお願いたします。